

## 6月の浦ノ内湾の養殖魚の餌食い悪化の件

(お知らせ)

5月下旬頃から、浦ノ内湾内の養殖魚の餌食いが悪いという情報が寄せられました。過去のデータを検証した結果、珪藻の増殖が原因ではないかと思われたため、お知らせします。

2004年から2006年の3年間で、浦ノ内湾で養殖魚や飼育魚の餌食いが悪いという情報が、4件寄せられていました(表1)。

このうち3件で、スケルトネマ属、あるいはレプトシリンダラス属の珪藻が2万 cells/ml 程度出現していました。

上記の珪藻が1万 cells/ml 以上の密度になったことは7件ありましたが、このうち3件で餌食い悪化が起こっていたこととなります。

なお、浦ノ内では、珪藻類が高密度に出現した後に魚が大量に死亡したという情報は、これまでのところありません。

今回、餌食いが悪化した時にも、レプトシリンダラス属の珪藻が高密度に出現していました。(小型細胞のため、正確な計数はできませんでしたが、およそ3万 cells/ml 程度だったと推測しています)

よって、全ての原因が珪藻であるとは言い切れないものの、今回の餌食いの悪化には、珪藻類が影響していると考えられました。

珪藻類は、沿岸域ではごく普通に出現するプランクトンであり、基本的には有害なプランクトンではありません。

珪藻類によって餌食いが悪化した原因は明らかではありませんが、透明度の低下や、溶存酸素が高くなり過ぎることによるストレスなどが考えられます。

今後も、何か異常がありましたら、水産試験場か中央漁業指導所に情報提供をお願いします。

(表 1)

	餌食い異常の報告	プランクトン調査日	珪藻の種類	密度 (cells/ml)
2004/11/25	色が付いて餌を食べない	2004/11/24	スケルトネマ属	19,650
2005/7/8	魚の餌食いが悪い	2005/7/7	出現なし	
2005/7/20	タイが餌を食べない	2005/7/15	スケルトネマ属	20,800
	なし	2005/8/3	レプトシリンダラス属	15,300
	なし	2005/10/7	レプトシリンダラス属	10,400
	なし	2006/5/9	スケルトネマ属	43,400
2006/8/22	魚が餌を吐き出す	2006/8/22	レプトシリンダラス属	18,550
2007/6/11	魚が餌を食べない	2007/6/12	レプトシリンダラス属	30,000?